

「話すこと」トレーニング AI コーチ を使ってみませんか？



「話すこと」トレーニング とはどのような教材ですか？

東京都教育委員会が作成した、**中学生の英語スピーキング能力を育成するためのトレーニング動画**です。ウェブサイト公開されている映像を見たり聞いたりしながら、生徒自身が個人で、**スピーキングの練習**に取り組むことができます。



自分のペースで
取り組める！

各問題の最後にはそれぞれ**解答例が音声と文字で収録**されており、練習の後に内容を確認することで、適切な表現を学習することができます。

レベルは Stage 1 から Stage 3 までの 3 種類があり、自分で学習レベルを選択して取り組むことができます。



TOKYO ENGLISH CHANNEL 「話すこと」トレーニング
https://www.tec.metro.tokyo.lg.jp/materials/jh_training/

「話すこと」トレーニング にはどのような問題が掲載されていますか？

次の **4 種類の課題** があります。どの課題も、映像を使って練習をすることができます。

① テキストを音読する

「校内放送の原稿を読む」など、設定された場面を理解してから、実際に英文を音読します。

② 質問に答える・質問する

設定された場面・状況で、イラストの登場人物になったつもりで質問に答えます（「質問に答える」パート）。また、映像の指示に従って質問します（「質問する」パート）。

③ 状況を描写・説明する

「昨日の出来事」の 4 コマのイラストなど、画面に表示されるイラスト・表に関して、描写・説明を行います。

④ 考えや意見を述べる

「好きな学校行事は何か？」などの設定されたテーマに対して自分の考えや意見を述べます。

映像を見ながら
実際に声に出して英語を
話してみよう！



「話すこと」トレーニング の実際の問題はどのようなものですか？

どの課題においても、英文やイラスト・表を見てからの準備時間が設定されています。

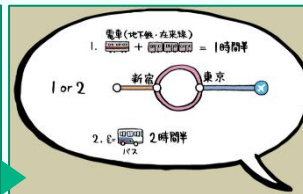
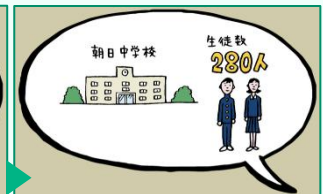
ここでは「質問に答える・質問する」、「状況を描写・説明する」の問題を、それぞれ 1 問ずつ紹介します。

「② 質問に答える・質問する」の問題【Stage 3-1 第 1 回】から

与えられた情報をもとに答える問題です。画面の情報を見る準備時間が 10 秒あります。その後、英語で質問されますので、画面の情報をもとに英語で答えてください。解答時間はそれぞれ 10 秒です。開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

画面に示される指示・イラスト

あなたは、外国人旅行者から空港への行き方を聞かれました。空港までの行き方は電車とバスの 2 種類があり、バスは 20 分ごとに発車、料金は 1800 円です。バス停へ案内する間、学校生活について質問に答えます。



スクリプト・解答例

A : 外国人旅行者（動画音声による質問） B : 生徒（解答例）

A: Excuse me, could you tell me how to get to the airport?

B: Sure.

A: Which line should I take?

B: You should take this subway and the local trains.

A: Where should I change trains?

B: At Shinjuku and Tokyo stations.

A: How long does it take?

B: It takes about one and a half hours.

A: Is it the only way to get to the airport?

B: No. You can also go there by bus.

A: Can you show me where I can take the bus?

B: Sure. We can go together.

A: What school do you go to?

B: I go to Asahi Junior High School.

A: How many students are there?

B: There are about 280 students.

(…中略…)

A: Oh, who is that man?

B: He's from the bus company.

A: Is that a bus stop to the airport?

B: Yes, it is.

Buses come every twenty minutes.

A: How much does it cost?

B: Let's see. It costs 1,800 yen.

A: Can I buy a ticket from the man?

B: Yes, you can.

A: Well, thanks so much for your help.

Your English is very good!

B: Thank you.

(中略)

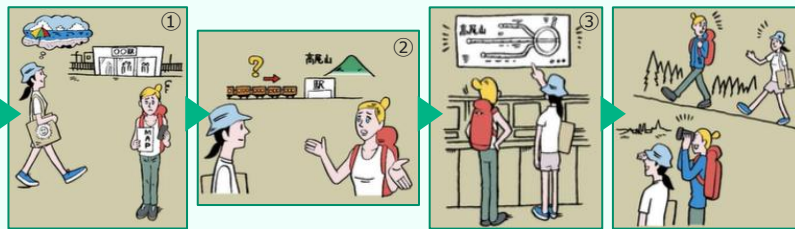


「③状況を描写・説明する」の問題【Stage 3-1 第1回】から

画面に表示されるイラストや表について、かかれていたことを説明する問題です。準備時間は30秒、解答時間は40秒です。
開始の音が鳴ってから解答してください。

画面に示される指示・イラスト

あなたは、昨日あなたに起こった出来事について
留学生の友達に話すことになりました。
イラストに登場する女の子になったつもりで、
相手に伝わるように英語で話してください。



スクリプト・解答例

- ① I went to the station because I wanted to go to the sea. I found a woman in trouble there.
- ② She said that she didn't know which train she should take to go to Mt. Takao.
- ③ I told her the right train to take, and the woman thanked me.
- ④ I changed my mind and decided to go to Mt. Takao with her. I enjoyed hiking and the view from the top.

「話すこと」トレーニング AI コーチ による添削・評価はどのようなものですか



「話すこと」トレーニングにおいて、**生成 AI を利用した添削・評価機能**を、**都内公立中学校等**に在籍する
中学校第3学年の全生徒に対して提供するものです。**区市町村別の「共通コード」**を使ってログインすることで
本機能を使用できます。この **AI コーチ**には、以下のような特徴があります。

「話すこと」トレーニング AI コーチ の特徴

4分野で評価

発話の内容を「内容の適切さ」「言語使用（語彙）」「言語使用（文法）」「音声」の**4分野で評価**
（音読問題は「音声」のみによる評価）し、分野ごとの分析コメントも提示

3段階で評価

各分野を「Excellent!!!」「Good!!」「You can do it!!」の**3段階で評価**

修正案の提示

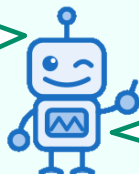
発話内容の文字起こしに加え、**AI による修正解答案（音声読み上げ付き）**を提示

総評等の提示

「総合評価」と、発話内容の分析・改善に向けたアドバイスを含んだ**総評を提示**するとともに、
実施内容を踏まえた「おススメの問題」も提案

「話すこと」トレーニング AI コーチ における音声や音声を文字化したデータ・学習履歴等の扱い

- 生徒が発話した音声・その音声を文字化したデータを基に、AI が学習することはありません。
- 音声データをサーバ等へ保存することはありません。



- Web 上では、個別の ID やパスワードによるアカウント管理は行いません（アカウントに紐づく学習履歴は保存されません。）。
- 各生徒の使用端末（一人1台端末等）内のデータ保存領域を使用することで、個別の端末上に学習履歴を保存します。
→ 使用端末を変更すると、学習履歴には反映されません。

「話すこと」トレーニング AI コーチ はどのように活用できますか



「話すこと」トレーニング AI コーチは、**生徒自身が個人で活用できるよう web サイト上でアクセス**することができ、**家庭学習**や**授業中の個別の学習の場面**で活用することができます。また、**教師が単元の指導計画等を作成する際**、当該の単元と関連するテーマを扱った「話すこと」トレーニングの課題等を教材として活用するなど、**授業づくりに活用**することもできます。

生徒の活用（個人で活用）



家庭学習で

- ・ 話す力がどれくらい身に付いているかの力だめしをする。
- ・ 練習したい分野（例えば「③状況を描写・説明する」）を選ぶ。

授業中の個別の学習の場面で

- ・ ペアワークの準備に「②質問に答える・質問する」を使う。
- ・ 言語活動で扱う話題と類似の話題について話す練習として「④考えや意見を述べる」を使う。

教師の活用（授業づくりに活用）



単元終末の言語活動に向けて

- ・ 単元終末に「話すこと [発表]」の言語活動を設定する際、事前の練習として、関連したテーマを扱っている「④考えや意見を述べる」の課題を使う。

帯活動などの場面で

- ・ 教科書の内容に加えて、既習事項の範囲で使える教材として「①テキストを音読する」の課題を使う。
- ・ 言語活動で扱う話題と類似の話題について話す練習として「④考えや意見を述べる」を使う。

授業づくりに活用できる「話すこと」トレーニング Stage 3 の課題（教科書で扱っている話題と類似の話題を扱っている課題）

※以下の [] 内は、Stage 3 のそれぞれの種類の課題（①～④）におけるタイトルや回数（第○回）を表しています。

- ①テキストを音読する : [遠足]、[駅弁]、[東京のバス]
- ②質問に答える・質問する : [第1回] 空港への行き方、[第2回] 自分の町の紹介、[第4回] 学んでいる言語・興味のあること
- ③状況を描写・説明する : [昨日の出来事]、[日本の伝統的な季節行事]、[私の街の人気の場所]
- ④考えや意見を述べる : [第1回 (好きな学校行事)]、[第3回 (継続していること)]、[第4回 (勉強に最も便利なツール)]

「話すこと」トレーニング AI コーチ を使ってみませんか？
東京都教育庁グローバル人材育成部国際教育企画課 令和8年9月
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 TEL 03-5320-6865

まずは、AI コーチ を体験するところから
「話すこと」トレーニング を始めましょう！

